



10. 出産前よりも難易度や責任の度合いが低くなる、子供を持つとキャリアアップしにくいなどのマミートラックの課題がある

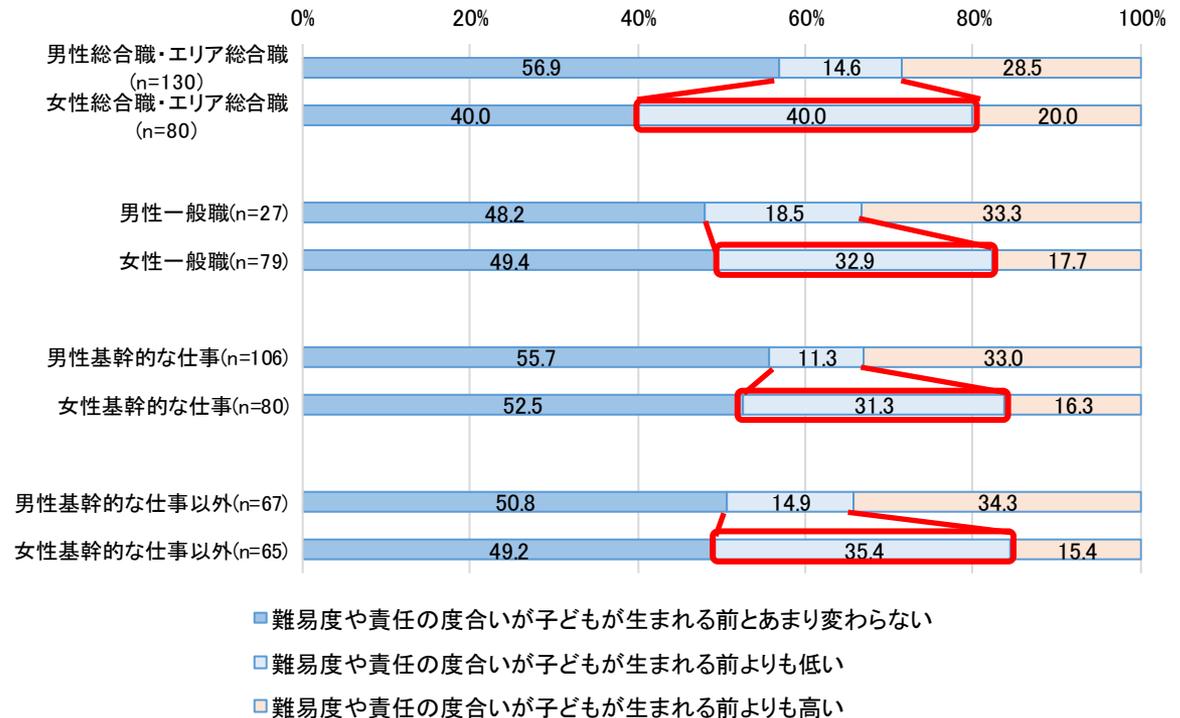
20代・30代の総合職・エリア総合職の女性では、 出産前よりも難易度や責任の度合いが低くなった人が4割



- 20代・30代で子どものいる人について、男女別コース・仕事別に「難易度や責任の度合いが子どもが生まれる前よりも低い」（いわゆるマミートラック）人の割合を見ると、男性総合職・エリア総合職では14.6%であるが、女性総合職・エリア総合職では、40.0%と高い。
- 一般職、基幹的な仕事、基幹的な仕事以外でも、男性より女性のほうが「難易度や責任の度合いが子どもが生まれる前よりも低い」人の割合が高い。

【20代・30代 子どものいる人 男女別 コース・仕事別】

Q17.難易度や責任の度合いについてご回答ください。



*「基幹的な仕事」はコース別雇用管理制度がなく、「企画部門、営業部門、管理部門、技術部門、研究開発部門等での基幹的な仕事」をしている人。「基幹的な仕事以外」はコース別雇用管理制度がなく、基幹的な仕事をしている人以外。

20代の女性では、出産前よりも難易度や責任の度合いが低くなった人が36.5%



- 子どものいる女性について年代別に「難易度や責任の度合いが子どもが生まれる前よりも低い」割合を見ると、20代が最も高く、36.5%である。
- 40代・50代になると「難易度や責任の度合いが子どもが生まれる前よりも低い」という割合は20代・30代よりは低いが、22.1%、16.2%いる。

【子どものいる女性 年代別】

Q17. 難易度や責任の度合いについてご回答ください。



- 難易度や責任の度合いが子どもが生まれる前とあまり変わらない
- 難易度や責任の度合いが子どもが生まれる前よりも低い
- 難易度や責任の度合いが子どもが生まれる前よりも高い

子どものいる人について、キャリアの展望がある人の割合は、どの年代においても女性のほうが少ない



- 子どものいる人について、キャリアの展望がある（「キャリアの展望がある」「どちらかといえばキャリアの展望がある」）人の割合を年代別に男女比較をすると、どの年代も女性のほうが低い。
- 特に30代においては、18.5ポイントの男女差がある。

【子どものいる人 年代別男女別】キャリア展望

Q18.キャリアの展望（キャリアアップの可能性）についてご回答ください。

（※キャリアアップとは昇格・昇進することに加え、仕事の幅を広げたり、仕事のレベルを上げることを指します）

凡例 (n) キャリアの展望（キャリアアップの可能性）がある どちらかといえばキャリアの展望（キャリアアップの可能性）がある どちらかといえばキャリアの展望（キャリアアップの可能性）がない キャリアの展望（キャリアアップの可能性）がない (%)

年代性別	凡例 (n)	キャリアの展望（キャリアアップの可能性）がある (%)	どちらかといえばキャリアの展望（キャリアアップの可能性）がある (%)	どちらかといえばキャリアの展望（キャリアアップの可能性）がない (%)	キャリアの展望（キャリアアップの可能性）がない (%)
20代男性	(47)	29.8	38.3	19.1	12.8
20代女性	(74)	14.9	40.5	25.7	18.9
30代男性	(283)	24.4	44.5	20.5	10.6
30代女性	(230)	13.0	37.4	28.7	20.9
40代男性	(375)	14.1	35.7	28.5	21.6
40代女性	(199)	11.1	32.2	33.2	23.6
50代男性	(245)	6.9	22.0	29.4	41.6
50代女性	(74)	4.1	23.0	27.0	45.9

301人以上企業では、業種によって育児をしながらキャリアアップしにくい人が半数近くいる



- 301人以上企業の女性において、宿泊業・飲食サービス業、卸売・小売業、建設業では、育児をしながらキャリアアップすることが可能かという質問に対し、「そう思わない」「どちらかと言えばそう思わない」という回答が5割近くを占めている。
- 一方、金融業・保険業では、「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」の割合が75.1%と高い。

【301人以上企業 女性：業種別】育児をしながらキャリアアップ

Q19_1あなたの職場では、育児をしながら働く女性が、キャリアアップすることは可能だと思いますか。（※キャリアアップとは昇格・昇進することに加え、仕事の幅を広げたり、仕事のレベルを上げることを指します）

凡例	(n)	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない	(%)
建設業	(157)	15.3	39.5	24.8	20.4	
製造業	(155)	20.6	45.8	21.3	12.3	
電気・ガス・熱供給・水道業	(63)	25.4	46.0	22.2	6.3	
情報通信業	(155)	24.5	45.2	23.9	6.5	
運輸業、郵便業	(159)	25.8	38.4	22.6	13.2	
卸売、小売業	(155)	14.8	38.7	30.3	16.1	
金融、保険業	(173)	26.0	49.1	16.8	8.1	
不動産業、物品賃貸業	(135)	12.6	45.2	28.1	14.1	
宿泊業、飲食サービス業	(90)	16.7	34.4	33.3	15.6	
生活関連サービス業、娯楽業	(110)	24.5	35.5	27.3	12.7	
サービス業(他に分類されないもの)	(148)	15.5	47.3	25.0	12.2	

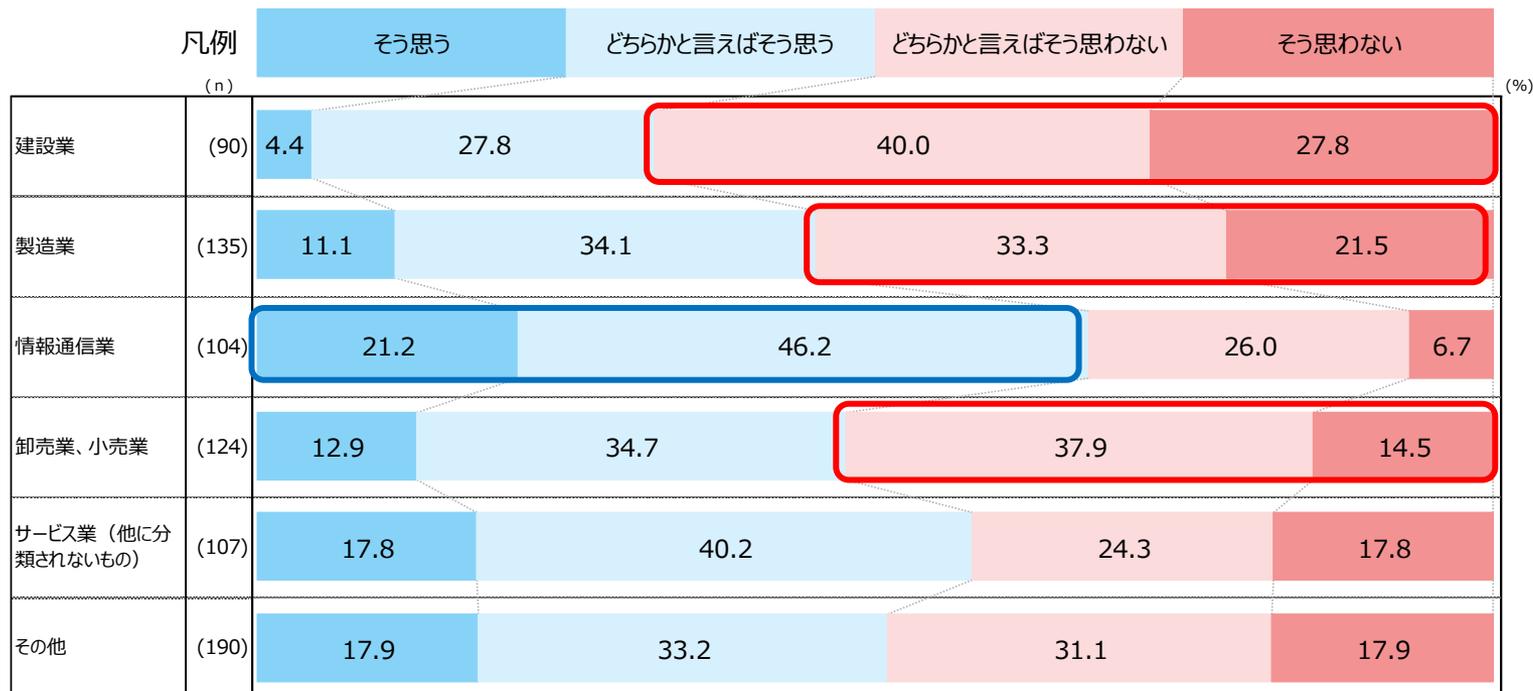
101～300人企業では、建設業、製造業で 育児をしながらキャリアアップしにくい人が多い



- 101～300人企業の女性において、育児をしながらキャリアアップすることが可能かという質問に対し、「そう思わない」「どちらかかと言えはそう思わない」という回答割合が、建設業で67.8%、製造業で54.8%、卸売業・小売業52.4%と5割を超えている。
- 「そう思う」「どちらかと言えはそう思う」という回答割合は、情報通信業で最も高く67.4%である。

【101～300人以下企業 女性：業種別】育児をしながらキャリアアップ

Q19_1あなたの職場では、育児をしながら働く女性が、キャリアアップすることは可能だと思いますか。（※キャリアアップとは昇格・昇進することに加え、仕事の幅を広げたり、仕事のレベルを上げること指します）



思ったことが自由にいえる職場風土の場合、育児をしながら働く女性がキャリアアップすることは可能だと思う割合が高い



- 思ったことが自由に言える職場風土（心理的安全性が保たれている）の場合、育児をしながらキャリアアップすることが可能（「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」の合計）という回答割合が78.2%と高い。
- 思ったことが自由に言える職場風土でない（「まったく当てはまらない」）場合は、27.6%である。

【女性：心理的安全性 別】育児をしながらキャリアアップ

Q19_1あなたの職場では、育児をしながら働く女性が、キャリアアップすることは可能だと思いますか。（※キャリアアップとは昇格・昇進することに加え、仕事の幅を広げたり、仕事のレベルを上げること指します）

